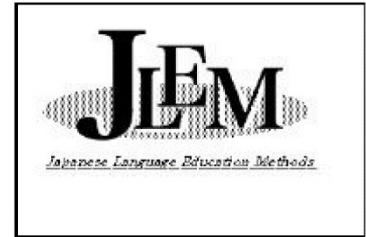


JLEM News Letter Vol.49



第55回日本語教育方法研究会開催

発表6件 参加者88名
第56回 オンライン開催

2020年9月12日(土)、第55回日本語教育方法研究会がオンラインで開催されました。

前日9月13日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第56回研究会は2021年3月16日にオンラインで開催されます。みなさまふるってご参加ください。

開催を終えて

中川 健司
(事務局)

第55回研究会は、2020年9月12日(土)にオンラインで開催されました。当日は、特別企画「オンライン授業を振り返って」意見交換会・雑談会および6件のポスター発表、オンライン交流会が行われました。今回は新規発表を募集せず、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止となった前回第54回研究会の発表予定者の中から発表者を募るという変則的な形で行われました。

初のオンライン開催に向けて、運営委員を中心に、3月、6月とオンラインポスター発表の試行を二度行い、運営方法の検討を重ねました。参加

者、発表者の方を対象にアンケートを実施しましたが、その中では、肯定的なコメントが多く安心しました。しかしながら、通常のJLEMと同じ経験を会員の皆様に提供できているかということ、まだそうっていない部分も多いのではないかと思います。次回の第56回研究会もオンラインで開催する予定ですが、よりよい研究会とできるように再度開催方法を検討したいと思います。

次回開催にあたって

中川 健司
(事務局)

第55回研究会の総会で発表したように、第56回研究会については、2021年3月16日(火)にオンラインで開催する予定です。可能であれば、いつもどおり、対面式で研究会を開催したいところですが、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない現在、それは難しいと判断いたしました。

第56回研究会では新規の発表を募集する予定ですが、開催方法によっては、発表申し込みをされた方全員に発表していただくことができな

い可能性があります。その場合には、発表申込をされた方から抽選で発表をしていただく方を決め、抽選から漏れた方は、会誌原稿掲載をもって発表成立といたします。

運営委員会報告

研究会当日の9月12日(土)にZOOMにて、2020年度日本語教育方法研究会総会が開催されました。無事、総会として成立し、全ての議案について承認されたことをご報告いたします。また、研究会に先だって運営委員会がZOOMにて9月11日(金)に開かれました。今回18名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。以下、総会での報告事項、承認事項について報告致します。

- ①会員数 2020年9月10日現在の会員数は548名になりました。
- ②2019年度の決算について 会計担当委員から2019年度の決算案の説明が行われ、承認されました。
- ③2020年度の予算について 2020年度の予算案の説明が会計担当委員より行われ、承認されました。新型コロナウイルスの感染症の状況の悪化によるオンライン開催を鑑みた予算案となっています。
- ④運営委員の交代について 以下の委員の退任・就任が承認されました。

退任：鹿嶋彰さん（弘前大学）（会計）、向井留実子さん（東京大学）（会計）

就任：世良時子さん（成蹊大学）（編集（ニュースレター担当））平田秀さん（武蔵野大学）（会計）

⑤今後の開催予定 第56回：2021年3月16日（火）オンライン開催 第57回：2021年9月静岡大学 第56回の開催方法等に関しては、「次回開催にあたって」をご覧ください。

（河野俊之）

事務局よりご連絡

●発表申し込み方法の変更について
これまで発表希望者は、まず発表申込を行い、後日会誌原稿を提出するという手順になっていましたが、第56回研究会より発表申込時に会誌原稿を提出していただくこととします。これまでと手順が異なり申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。

●発表者の会費支払期限について
発表者（複数の場合は全員）は応募時点で2020年度の会費（2020年4月からの新年度分）を支払っていないければなりません。発表申し込み締切前にこちらで会費支払期限を設けますが、その時点で入金を確認できない方については、発表申し込みを受け付けることはできませんので、それを見越して、お早めにご入金をお済ませください。発表申し込みを行う前に必ず発表者全員が各自の会員ページで会費支払が済んでいることを確認するようにしてください。

●発表をお断りする場合

本研究会では、以下の場合発表をお断りする場合がありますので、ご承知おきください。

- ①特定の個人や集団を攻撃する内容のもの
- ②研究倫理上問題があると考えられるもの
- ③特定の教材、商品、サービス等を宣伝するもの

●発表者の所属先の記載について
発表者の所属先の記載のしかたにばらつきがあるため、今後以下のように統一いたします。

・原則的には（強い希望がない限りは）、組織名（大学名）のみ表記し、部局名（例：～研究科、～学部、～センター）は付けないようにしてください。

・大学院生、学部生の場合には、「〇〇大学大学院生」もしくは「〇〇大学学部生」と記してください。

●住所変更等

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を郵送します。住所変更が行われない、あるいは宛名不明のため、会誌が返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

（中川健司）

J-STAGE について

現在、第26巻1号（2019年9月発行）までの記事をJ-STAGEで公開しています。それ以降のものについては、刊行後1年未満のため、書誌情報しか見られません。刊行後1年未満の会誌については、冊子をご覧

ください。また、発表に応募される方は、引き続き以下の3点についてご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- ①JLEMでの発表応募は、「J-STAGEでの公開の承認」を前提とすること
- ②編集担当が最終的な受理とした原稿を後で変更できないこと
- ③研究会当日に発表を行わなかった場合、その原稿はJ-STAGEで公開しないこと

（寺嶋弘道）

ご連絡先をお知らせください

●会費納入について

会費をお振り込みいただいた方で、以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方は事務局までお知らせください。

また、会員番号名や大学名での振り込みの場合、入金確認が難しいため、会員ご本人様のお名前を明記していただけるようお願いいたします。

2015/09/19 日付け 3000 円振込み
「大野 裕」

2017/06/28 日付け 3000 円振込み
「オオタカ ヨウ」

2017/09/16 日付け 3000 円振込み
「王 夢蕾」

2018/03/22 日付け 3000 円振込み
「東野 美里」

2018/05/07 日付け 3000 円振込み
「ノムラ ユカリ」

2019/10/05 日付け 3000 円振込み
「山本 晃彦」

（敬称略、11月17日現在）

（長谷川守寿）

日本語教育方法研究会

問い合わせ先：jlem-ml@jlem-sg.org

（レター編集：世良時子）